

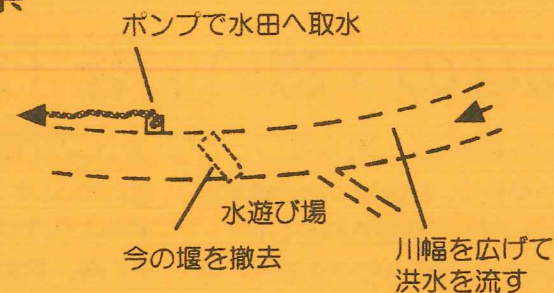
その他の案の 投票結果は…



第2位 タイプa 6票

「堰は撤去する」

このタイプは、ワークショップ参加者の「想い」のひとつに堰を残したいということがあり、多くの支持を得るには至りませんでした。



投票者の声

- ・bもいいが、今後の堰を考えると、難点があるため。
- ・堰が残せないのなら自然を壊さないように。
- ・改修は確実に必要
- ・堰の改修も難しいそう
- ・現実的でよい案だと思う。
- ・川の中で遊べる

第3位 タイプe 4票

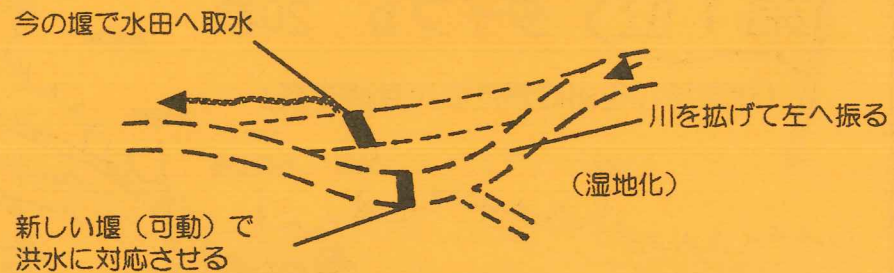
「何もしない」

洪水解消のために改修せざるを得ないのはわかるが、それでも現状の環境に手を加えてほしくないという想いを集めて第3位。

第4位 タイプc 3票

「現状の堰を残し新堰をつくる」

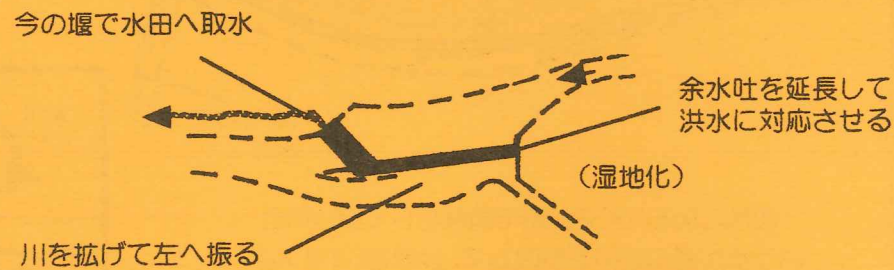
現状の堰と自然を残すため、新たな堰を作るという考え方。しかし、新堰の周辺がコンクリートになるため自然を生かすという本来の趣旨と矛盾して第4位。



第5位 タイプd 0票

「現状の堰の 部分改修程度にとどめる」

現状6mのコンクリートの余水吐を70m以上延長しなければならず、大規模な改修が必要となり、かつ余水吐下流をハードな構造にしなければならず、得票なし。



W.S.最終回です

参加者の声

- ・これで最終回ではもったいない気がしました。この先の技術・予算・環境等、詳細な条件を出した上での検討をじっくりしてみたいと思いました。最終的な判断が、市民と行政でじっくりできると良いと思うのですが……。
- ・午前中の一本橋下流の記念植樹は私の一生の思い出となる。皆さんご苦労様でした。
- ・図がわかりやすくて良かったです。皆さんの熱い想いも伝わってきました。
- ・全案をならべてどれが良いか、という前に一つ一つの案について討議する時間がほしかった。

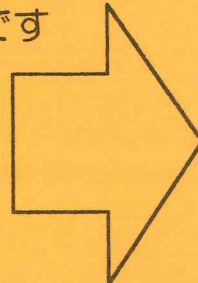
- ・「行政としては…」という発言がとても多くて自由な発想という感じがそがれた。
- ・皆で話しあう雰囲気づくりが良かった。
- ・今までで一番楽しかったです。行政の方の意見がもっと早くからきけた方がよかったのではないかと思います。
- ・メンテナンスをしないで保護しようと言うのはムリ。校長先生の言うようにメンテナンスができる体制を作るのが重要。
- ・5つのタイプへの整理、さらにその中での縁組み。はじめは、若干強引かな、とも思いましたが、今後、詳細設計の段階で、皆さんの意見が反映され、そして最終的にいい空間になることで、合意を得られるものと思います。
- ・自分の想いのみにとられることがむずかしいと感じました。諸条件は会のはじめに言うべきなのか、否か……
- ・案が一応まとまったことは、良かったが、現状の維持に基本的に賛成している、住民の意見を最終案にどれだけ反映できるかが大切ですね。

今どきの 学校と 梅田川

梅田川の流域にはいくつもの学校があります。このワークショップにも小学校の先生方や大学の教授、学生の方々も参加しています。梅田川の流域にあるこれらの学校では、今の梅田川とどんなにかかわりをもってしているのでしょうか。

新治小学校のウォークラリーの様子です
(右のページ)

新治小学校では環境そのものをよい教材として捉え、積極的、継続的に活用していくようなプログラムの開発を目指しています。
(山口先生からのご寄稿)



●小学校での取り組み

梅田川流域にある学校の先生方に、学校と梅田川のかかわりについてを伺いました。

学校名	今行っていること	これからしてみたいこと
新治 養護学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊歩道の散歩 ・ 川原での水遊び ・ 念珠坂公園などでの植物採集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川遊び(水遊び、石ひろい、ザリガニとりなど) ・ 四季の変化を肌で感じさせたい(鳥の声、森の香りなど) ・ 水田などでの泥遊びなど、土の感触を味わってほしい ・ 間近で水鳥を観察したり、魚や水辺の小動物を見せたりしたい
新治小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新治の谷戸奥で地層の観察 ・ 梅田川で魚とり→クラスで飼育(クチボソ、フナ) ・ 流れる水の動き→川の曲がる場所での川底の様子や流れる速さ ・ クラブ→新治小横の梅田川沿いで化石採り ・ 「はっぱや いしも みんなの なかま」造形遊びで学校近辺の川べりに出かけて、自然材料を集めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供と先生との話し合いで「地域の人物マップ」を作りたい。子供達が勝手に地域を歩いて、流域人物、地域のことを教えてくれる人を探し、人に話をきくことで、人を尊敬する気持ちが身に付いてくることにつながる。 川遊び、粘土集め・写生・七草つみ
三保小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元名「あきとあそぼう」→念珠坂公園などで木の葉や実、昆虫などをさがす。今年ほとんどどんぐりが少なかったが、じゅず玉がたくさんあり、ネックレスや楽器を作って楽しんだ。 ・ 梅田川や周辺の森の様子を調べる ・ メダカ、ヤゴを放流した ・ 上流の田んぼ付近にホトケドジョウやメダカ、おたまじゃくしをとりに行った。 <p>川を活動場所の中心として使うことが多いが、川岸も、川の深さや幅も自由に遊んだり活動したりするのにちょうどよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅田川だけでなく、谷戸奥での観察なども行っている ・ 生きものの観察、生態調べ ・ ネイチャーゲーム ・ 河川の汚れなど水質検査(高学年) ・ メダカの放流(5年理科)

梅田川の川づくりへのみんなの「想い」は...

対象地区の「かたち」をどうしていきたいのか？そこにはグループをこえて共有化された「想い」がありました。その「想い」をまとめたものが下の図です。

「想い」を「かたち」につなげられたことも今年度の梅田川水辺の楽校ワークショップのもうひとつの成果です。今後、設計を進めるにあたって「かたち」と同時に参加者の「想い」もきちんと盛り込んで進めていってほしいですね。

今ある自然を残し育てたい

堰とお滝様は地域の宝物だ

自然

- ・斜面林は残す
- ・川の自然を回復しよう
- ・河畔のシノダケ林
- ・オニグルミを残しシンボルにする

- ・堰や斜面林の管理は行う必要がある
- ・林の管理のために小径をつける

歴史・文化

- ・堰の活用とお滝様の保存
- ・地域の大切なところ～堰、お滝様は梅田川のヘソ
- ・文化的価値
- ・昔の風景を取り戻す
- ・堰、水路、水田を一体で残したい

- ・残すためには地域の了解が不可欠
- ・田んぼがなくなった場合堰の大きい存置理由がなくなる
- ・老朽化した堰の補修、水路の管理
- ・河積の確保

安全

- ・洪水対策が必要
- ・スロープ・階段・柵の設置
- ・小さい子どもに配慮する

みんなの「想い」

もっと川に関わりたい

利用

- ・自分たちで管理したい
- ・大人と子どもが遊び学べる場
- ・流域や生物、お滝様、堰などの案内板
- ・水際部には木道を設置

やすらぎ

- ・憩いの空間とする
- ・川の景色を眺める場所
- ・昔の川の再生（春の小川）
- ・歩くのを楽しむ静かなところ
- ・人々の集う場所

- ・各案にしぼったポイントをもう少し説明していただいた方が、良かったと思いましたが...
- ・各プランの特徴をいくつかのポイントで示した方がより違いが明確になったように思います。専門技術的な内容の解説は案外難しいですね。
- ・とても楽しくできました。みんなの想いがよく出ていました。
- ・参加者の皆さんが真剣にとりこんでいる。
- ・「梅田川のワークショップ」の一番初めのテーマとして「子供達が水辺で親しめるような川づくり」ということでした。が、やはり子供達を中心とした考え（子供達の学びの場とする）を大切にしたいと思っています。子供達の意見をもっと聞きたかったです。
- ・これまで十分理解の上で話しあってきたことに対して、行政側の言い訳が多すぎた。（それだけ危機感があったのでしょうか）あまり、いい感じではなかった。



たのしかったな

にははるラリー

新治小学校のすぐ裏側に梅田川が流れています。休みにサンダルを履いて気軽にいける距離で、川の流れる音が耳に心地よく聞こえてきそうです。

梅田川を愛する皆様のお陰を持ちまして、この度、子どもたちが安心して遊べる場所へと整備がなされました。本校では、川の持つ魅力を考え、本校のねらう『豊かな人間関係の育成』の一環としてさっそく、その梅田川沿いを探索したり、遊んだりする全校ウォークラリーを実施しました。ラリーは、去年からの子どもたちの要望でもありました。

どこで何を見せたり、遊ばせたりしたらよいか考えあぐねていたところ、整備されたというニュースは一気にGOサインとなりました。それでも、危険な場所はないか、まむしは出てこないかなどの不安があり何度か雨の中、下見をしました。これが楽しくラリー計画に拍車がかかったのです。

当日のタイムテーブル



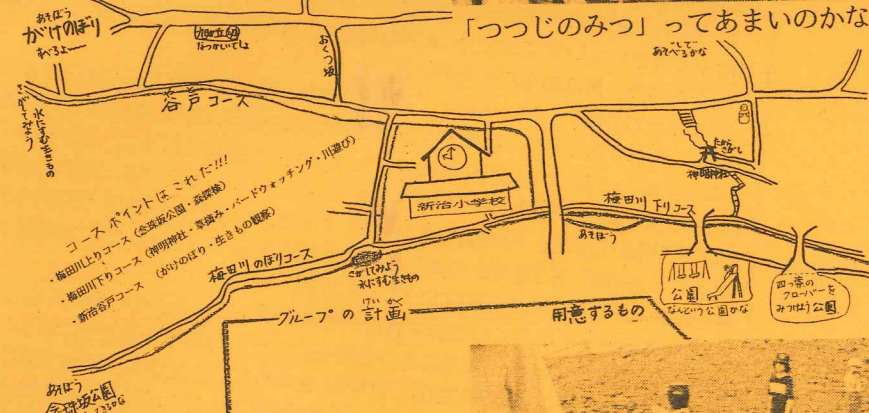
いい、わたしの真似して登るのよ!

校庭集合	9:10	9:15	9:30	11:45~12:00
出発の会	9:10	9:15	9:30	11:45~12:00
コース別ラリー	9:10	9:15	9:30	11:45~12:00
学校着	9:10	9:15	9:30	11:45~12:00
昼食(校庭orグリーン帯)	12:00~13:00	13:15	13:30	
終わりの会	12:00~13:00	13:15	13:30	
グループ会議(次回計画)	12:00~13:00	13:15	13:30	

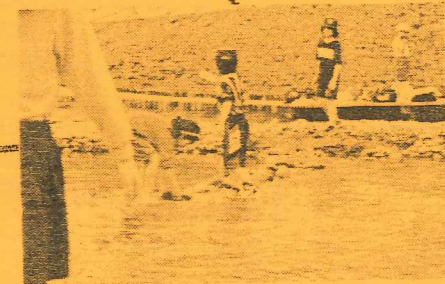


- ・歌...さんぽ
- ・ちかいの言葉 6年
- ・校長先生のお話
- ・1・2ねんせいほれて「さようなら」 (3~6年生の参加)
- ・ラリーの感想 1年
- ・校長先生のお話
- ・歌...にんげん いいな

ラリーコース



遊具もいいけど 川遊びだよな



ねえ、どんどん石をつなげて橋をつくらう

低学年の混合グループ(12名ぐらい)を編成し、3コースの中から選択。計画会議・なかよし給食はそのたてわり班と一緒に。

全校ラリー ポイントカード

「川遊びコース」 チーム

ポイント	問題	チェック
①	神明神社で宝探しをした。	20点
②	神明神社で宝と引きかえにキャッチーをもらった。	20点
③	神明神社で、みんなで木で遊んだ。	20点
④	川遊びの前に写真を撮ってもらった。	20点
⑤	川遊びの時、色の違う石を3つ見つけた。	20点

合計点 点!

ラリーを終えて

- ・川の水はつめたかったけどおもしろかったよ。
- ・がけが、つるつるすべるから、びっくりしちゃった。
- ・みんなで、おべんとうをたべたからうれしかった。

- ・小さい子のめんどろを見るのが大変だった。でも、いろいろできたから、また、やってみたいな。
- ・自然で遊ぶのも結構できたよ。

- ・子どもたちは楽しそうでしたね。秋にも、またやりましょうよ。
- ・がけのほりが、よかったですよ。